



【感染症だより】

～インフルエンザ流行について～

皆さんニュース等でご存知の通り、今年は例年より早くインフルエンザの流行期に突入しました。例年だと1月の後半から2月にかけて流行しますが、今年は大分早い11月下旬から流行し始めました。ひと冬に、初期にはA香港型、中期にA2009pdm型、後半にB型、といったように数種類のインフルエンザが流行します。ひと冬でA型に2回罹った、あるいは、A型とB型の両方にかかった、という経験がある方もおられるかと思えます。まだインフルエンザワクチンをまだ接種していない人でも、接種後2週間程度で抗体ができますので、これからの感染に備えて接種する事をお勧め致します。

もし、インフルエンザに罹ってしまったら、発熱から6時間程度で検査が可能となりますので、医療機関を受診しましょう。お薬は、48時間以内に開始すれば治療効果が期待出来ます。安静を保ち、水分をよく摂って、十分な睡眠をとりましょう。インフルエンザ薬をつかっても、5日以上高熱が持続する場合には、再受診しましょう。

表：11月しみず小児科・内科クリニックで診断された流行性の感染症

	感染症	患者数
1	胃腸炎	177
2	インフルエンザA	24
2	手足口病	24
4	溶連菌	10
4	肺炎（マイグラム含む）	10
6	水ぼうそう	7
7	おたふくかぜ	5
8	突発性発疹	4
9	ヘルパンギーナ	2
10	RSウイルス	1

文責： 清水マリ子

★インフルエンザではこんな症状に注意しましょう★

- 手足を突っ張る、がくがくする、目が上を向く、白目をむく、けいれんの症状がある
  - ぼんやりして視線が合わない、呼びかけに答えない、眠ってばかりいるなど意識障害の症状がある
  - 意味不明なことを言う、走り回るなど、いつもと違う異常な言動がある
  - 顔色が悪い（土気色、青白い）唇が紫色をしている（チアノーゼ）
  - 呼吸が速く（1分間に60回以上）息苦しそうにしている
  - ゼーゼーする、肩で呼吸する、全身を使って呼吸をする呼吸困難症状がある
  - 「呼吸が苦しい」「胸が痛い」と訴える
  - 水分が摂れず、半日以上おしっこが出ていない
  - 嘔吐や下痢が頻回にみられる
  - 元気が無く、ぐったりしている
- 以上のような症状があるときは、もう一度受診しましょう（日本小児科学会より）

